

科目名		設計製図A			
担当教員		熊谷貴子	実務授業の有無	○	
対象学科	建築士学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	建築空間の表現・伝達に必須である製図の知識・技術を、実習を通じて習得する				
学習目標 (到達目標)	木造住宅の各種図面の表現と作図手順を学び、木造軸組構法のしくみを理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	○初学者の建築講座 建築製図(市ヶ谷出版) ○製図用具一式 ○配布資料 ●製図用シャープ0.7mm(芯はB) ●マーカーペン(イエローとピンク)				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	<b>製図の基礎</b> ・建築製図と用具 ・製図の基本事項			建築製図の役割、図面の種類、用具の使い方を学ぶ 図面に用いる線・文字・記号・縮尺について学ぶ	
2	・作図トレーニング			線の表現、文字数字の記入、記号の表記などを 作図実習を通じて技術を習得する	
3	・課題実習			平面図・断面図・立面図の作業手順を学び、 作図実習に取り組む	
4	課題提出1			期限内に課題を完成させ提出する	
5	<b>木造住宅の製図</b> ・配置図・平面図の作図			作図手順を理解し、実習を通じて技術を習得する	
6	・断面図・立面図の作図			作図手順を理解し、演習を通じて技術を習得する	
7	・伏図の作図			木造軸組構法を学び、作図演習を通じて技術を習得する	
8	課題提出2			期限内に課題を完成させ提出する	
9	・矩計図の理解			木造軸組構法の構成と部材名を学ぶ	
10	課題提出3			期限内に課題を完成させ提出する	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題提出1	課題提出2	課題提出3		2級建築士試験の設計製図に対応できる基礎技術を習得しましょう	
40 %	40 %	20 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		設計業務、インテリアコーディネーターとして8年実務に携わる			